

【事業報告書】

HKFA審判委員会 女子部

- 事業名： 女子審判員研修会①
- 開催日時： 2019年4月27日（土）・28日（日）
- 場所： 27日 厚真町立厚南中学校（講義室）
28日 苫小牧東高等学校グラウンド・苫小牧市民会館
- 講師： 山崎 裕彦氏（JFA審判デベロップメントオフィサー）
大岩真由美（サッカーS級審判インストラクター・女子部）
- スタッフ： 蝦名 隆幸（サッカー2級審判インストラクター・女子部）
大石かおり（サッカー2級審判インストラクター・女子部）
- 参加者： 2名
稲葉里美（2級審判員） 28日のみ
他1名（3級審判員）



■研修内容（タイムスケジュール）

4月27日（土）	4月28日（日）
9:30 開講式・自己紹介 9:40 アイスブレイク 9:55 説明 ・女子審判員の活動について 10:45 講話 ・審判員に必要な資質 11:50 昼食 13:00 講義・実技 ・フィールドインスペクション ・フラッグテクニック ・フィジカルトレーニングについて 15:10 講義 ・競技規則の改正 ・DOGSOとSPA 16:10 振り返り 16:30 解散	8:00 集合・打ち合わせ・準備 9:15 実技 ・トレーニングマッチ 30分×4本 苫小牧東高校 対 苫小牧工業高校 11:30 クールダウン・移動 12:30 昼食 13:10 フィードバック ・審判員による自己分析 ・INSによる分析評価 14:30 講義 ・ファウルと不正行為 ・なでしこ判例集 15:50 研修全体の振り返り・今後に向けて 16:30 解散
2019重点目標 ①フィジカルの強化 ②動きとポジショニング ③競技規則の理解	<実技研修> 苫小牧東高校 対 苫小牧工業高校 トレーニング マッチ 苫小牧東高・苫小牧工業高サッカー部のみなさん、ありがとうございました！
今回の研修テーマ Challenge ①挑戦する ②難しいこと、やりがいのあること	

■研修会の様子

1日目



2日目



■参加者のコメント



今回研修会では、自分の課題対策と良い部分の継続を意識させることでした。参加者がステップアップとして、様々なことを学べる機会になったと思います。2日間参加することは出来ませんでしたが、男子高校生の練習試合を吹かせていただいたり、貴重な経験をさせていただき、女子部の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



初めて研修会に参加し、緊張と不安でいっぱいでしたが、講義も実技も大事なことをたくさん学ぶことができ知らなかったことを知ることができたので、参加して良かったです。テーマは Challenge で今の私にはぴったりな言葉で、実技では失敗もありましたが、このテーマがあったから恐れずに前向きでチャレンジできたので自分を成長させることができました。大岩さんの講義では競技規則から審判をする上で知っておかなければならない文章やキーワードを確認できたり、映像をみて自分ならどう判定するか深く考えながら楽しい時間を過ごすことができました。

■RDO山崎氏よりコメント



第1回女子研修会に参加させていただきありがとうございました。研修準備、並びに運営に当たりまして、大変お疲れ様でした。

講習室に入った瞬間、「あっ」と感じたのが雰囲気です。受講生に「楽しんで学んでいくよ」というのが一瞬で伝わりました。審判に関する書籍を囲むように机が配置され、黒板に貼られたホワイトボードには、蝦名女子部長が見つめてきた様々なサッカーシーンの映像が流されるなど、「お出迎え」の心温まる気持ちが表現されていました。

「場」の設定は完璧でした。また、その後の講義においても、この研修での目的に沿った講義が進められていました。

準備がしっかりとなされていたこともさることながら、テーマに沿った内容は参加者も何を学んだかが明確になったことと思い、今後の審判活動に、自信もつけられたと思います。

女子の審判員数は、試合数に対してとても少ないと思います。されど女子部では、審判への啓蒙活動も積極的に行い、各研修会での活動報告書にも特徴的な内容が報告されています。審判員のサポートとしてフィットネスの講習を毎回入れるなど、手厚い内容が行われています。女子1級を目指すだけでなく、審判技量やマインドを上げたいという女子審判員がこういう場で学んで頂き、審判のやりがいを感じてくださる審判員が増えることを期待しています。そのことが北海道の女子サッカー発展にも繋がる意識を高めていただけるとよいと思います。サッカーへの新たな関わり方は、ここにもあります。





5R ～一歩一歩着実に～

■大岩INSよりコメント



参加者の少ない研修会ではありましたが、内容も充実しており、受講者と講師との会話も必然的に増えたり、実技ではビデオを撮り、映像を用いたフィードバックも細かくできて**とても雰囲気もよく有意義なものでした。**

受講生の二人は年齢差や経験値が全く違うのですがお互いに協力しあい、熱心に講義を受けていました。そんな様子から「**審判をやってみたい**」「**より成長したい**」など、**そんな思いを持った女性審判員がいるのならたとえ少なくとも、研修会を開催していくことが大切だ**と感じました。

参加させていただき本当にありがとうございました！

■まとめ （報告者 蝦名 隆幸）

年度始めの事業で、少人数での開催でしたが、参加者にとって充実した研修会となりました。1日目は山崎RDOがお越しになり、“審判員に必要な資質”という題目でお話をいただきました。**全国的女子審判員の現状について、具体的な数値を示し説明していただきました。**また、競技規則のファウルと不正行為についてのレクチャーでは、とても分かりやすく**実演を交えて解説**していただき、深く内容を理解することができました。午後からは、体育館でのプラクティカル（審判員の協力・ポジショニング等）、フィジカルトレーニングの実践例、大石INSから競技規則の改正の講義を実施していただきました。

2日目は、苫小牧東高校サッカー部、苫小牧工業高校サッカー部の皆さんに協力していただき、トレーニングマッチによる実技研修を実施しました。参加審判員は、主審・副審それぞれ担当し、**男子高校生のスピード感のある試合をしっかりとコントロールしようと前向きな姿勢がよく表れていて、有意義な研修となりました。**午後の部では、トレーニングマッチの映像を分析し、各事象の振り返りを行い、次の試合に向けての意欲付けにつなげることができました。最後は、大岩INSによる、なでしこリーグの事象映像をもとに講義をしていただき、判定の基準を解説していただきました。教材を準備していただき、その**教材を審判員が協力しながら並び替えたり、意見を交わすことにより内容を整理することができ、審判員からも「分かりやすい。」**と思わず声が漏れるほどでした。

2日間、参加審判員は**とても意欲的で、1つ1つのセッションに対し、謙虚な姿勢で臨んでいました。**

この研修会を開催するにあたり**山崎RDOにおかれましては、限られた時間の中、わがわざお越しになりお話をいただきました。**また、実技トレーニングの協力をしていただいた**苫小牧東高校サッカー部、苫小牧工業高校サッカー部の皆さん、連絡調整をしていただいた東高校の古曾部先生、その他さまざまな方にご協力をいただきましたこと**に、この場をお借りし深く感謝申し上げます。

年度始めで環境が変わるなど、致し方なく不参加となった審判員の皆さんも各地区協会様のご協力を賜りながら、コンディションを整えている方が多く、今後のさらなる活躍に期待しております。

今後とも女子審判員の活動に関しまして、皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。